

【小施策評価(令和元年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	歴史文化課	
施策	11	歴史・文化の継承	評価 責任者	福田 淳	内線 7350
小施策	11-2	博物館等施設の整備・充実	評価 シート 作成者	畠山 俊明	内線 7351

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
博物館等施設は、その適切な管理運営と計画的な保全、整備に努める必要がある。		各施設の老朽化対策を進め、必要な施設整備を行う。また、各施設では、その施設の特色を生かした事業を展開し、市民へ学習機会を提供し、歴史や文化に対する理解が深まるような運営を行う。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
市民等 博物館施設		市民等が地域の歴史や文化を知る。 魅力的で快適な施設環境になる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価				
指標① 博物館施設入館者数	単 位	目指す方向	成 果 点	⇒	成 果 の 要 因 分 析			
当初値 (H25) 360,816	人	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・9施設のうち6施設で入館者が増加した。 ・もりおか歴史文化館の2階展示室の入館者が増加した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・改元や即位の儀関連事業など、時事に合わせた展示等を実施したことで、報道機関等によって取り上げられ、PRに繋がった。 ・子供たちの興味関心を呼ぶ企画展や講座等を実施した。 			
R1目標値 361,937								
R6目標値 363,437								
			<th>問 題 点</th> <th>⇒</th> <th>問 題 の 要 因 分 析</th>			問 題 点	⇒	問 題 の 要 因 分 析
			<ul style="list-style-type: none"> ・総入館者数が令和元年度から減少した。 ・施設の設備、老朽化が進み、修繕対応が追いつかず、来館者の受け入れ環境が改善できない箇所がある。 ・施設敷地の樹木の繁茂等、環境改善が容易にはできない箇所がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化館の害虫駆除等のためのくん蒸作業や、新型コロナウイルス感染防止対応の関係で、例年よりも開館している日数が少なかったため、入館者数が大幅に減少した。 ・用意できる予算が限られており、未対応の修繕箇所が累積してきている。 			

今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性 ★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 各種企画展をはじめ、魅力的で話題性を捉えたイベントの開催のほか、各施設の情報案内、広報の強化を図るとともに、施設外へ出向く「出前講座」の充実に取り組む。 ★ 学校と連携し、教育課程や子どもの郊外活動のニーズを踏まえながら、利用促進を図る。 ★ 他団体のイベント等と連携するなど、機会を捉えて幅広くPR活動を行い施設への誘導を図る。 ★ 玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館の複合施設等の整備を進める。 ★ 施設や設備の修繕、樹木の繁茂等については、優先順位を検討し、予算要求していく。 ☆1 文化財保存活用地域計画の策定に係る検討において、博物館等施設での保存・活用のあり方も検討していく。